

第5回 出石地域 デザイン懇談会を開催しました

「第5回出石地域デザイン懇談会」を、11月9日（火）小野地区コミュニティセンターで開催しました。「地域デザイン懇談会」とは、地域に必要な施設・公共サービスの提供機能について、市民の方々と一緒に議論する場です。

今回の懇談会では、第4回目において、参加者の皆さまに具体的な延床面積の削減案について検討していただきましたので、その結果について振り返りを行いました。

次に、前回提案された削減案を実行した場合、どのようなメリット・デメリットが生じるかを各グループごとに議論していただき、さらに他のグループの提案についても意見を出し合いました。他のグループからの意見も参考に、前回検討した提案を実施することは「あり得る」「あり得ない」「どちらともいえない」等、5段階で評価しました。併せて無くすわけにはいかない「ハコ」についても検討し、最後にグループワークでの評価結果について発表、全体で共有しました。

懇談会の様子



第6回 出石地域デザイン懇談会の開催について

【第6回開催日時】

日時：2021年12月11日（土）午後3時から

場所：福住地区コミュニティセンター（福住地区交流センター）

【傍聴について】

傍聴をご希望される方は、出石振興局地域振興課へお申し込みください。

(1) 申込先：電話番号 52-3111 Eメール：izushi-chiiki@city.toyooka.lg.jp

(2) 申込時連絡内容：① 氏名 ② 住所 ③ 連絡先電話番号

(3) 申込期限：2021年12月10日（金）

次回がいよいよ
最終会！！

参加者の皆さまからの各提案に対する意見の一部を紹介します

小学校の統合

スクールバスの
配置が必要となる

人数が増え、スポーツや
行事が盛大にできる

人数が増えると
個性の多様化
→可能性が広がる！

たくさんの人と交流
することで
コミュニケーション
能力の向上

通学に時間が
かかる児童が
多くなる



農産物加工場→コミセンの調理室へ

保健所の許可
が出るか？

工夫をしたら
もっと使える施設に
なるのでは

利用率を上げて、
お金を生む施設へ

他地域の加工施設と
統合出来ないか

農産物加工場→民間へ譲渡

民間のノウハウを
フル活用！

使えることを知らなかった
→農家へPRが必要

B&Gのプール・体育館を民間に任せる

民間のノウハウで機能拡大、
サービスの向上を期待

様々なプログラム
ができ、選択肢が
増えるかも

採算がとれなければ、
施設そのものが無くなる
可能性もある

民間のノウハウを活用するた
めの指定管理ではないのか

利用料金値上げ
の可能性

各地区のコミュニティを集約

町全体の輪が広がり、
知り合える機会が増える

地区内にあるから
利用するもの
距離が遠くなると
通わなくなるかも

狭い地域感、凝り固まった
地域性を刷新できるかも！

地区内の人との繋がりが
希薄になってしまう

今のように
コミュニティ行事に
参加しなくなる
かもしれない

◇ご意見・ご感想◇

- ・意見交換で終わらず、実際に統合や廃止で税金のムダを無くしてもらいたい。
- ・具体的に話が出来たこと、他の班の意見もあり良かった。
- ・参加者が減っていていることが悲しいしもったいない。最終回は多くの人に参加してもらいたい。
- ・継続、廃止、統合する施設を最終的にどう決定するかは、どのように活用するか・できるかのソフト面、変化する移動手段、情報化の活用等でクリアできるかがカギだと思う。
- ・自分たちの意見、他の班の意見を全て見ることができ、勉強になったし楽しかった。

【参加者アンケートより】

当日の配布資料など、詳細は
市ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進室 電話 21-9129
出石振興局 地域振興課 電話 52-3111